

はじめに

本県においては、これまで国の「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」と一体的に取り組むため、「健康ふくしま21計画」を策定し、市町村、関係団体などと連携しながら、県民の健康と生活の質の向上を目指した「すこやか、いきいき、うつくしま」の創造を基本目標とする県民の健康づくり運動に取り組んでまいりました。

このような中、本県では、平成23年3月に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による災害の影響を受け、多くの県民が、今なお仮設住宅等において避難生活を余儀なくされるなど、県民の生活環境の変化等による心身の健康の悪化が懸念される状況にあります。

このため、今般、こうした状況や国が策定した「健康日本21（第二次）」を踏まえ、「第二次健康ふくしま21計画」を策定し、全国トップレベルの健康長寿県を目指す「健康寿命の延伸」と、県内地域間格差の縮小を目指す「健康格差の縮小」を柱とした「すこやか、いきいき、新生ふくしま」の創造を基本目標に掲げ、生活習慣病の発症予防や重症化予防、生活の質を向上させる取組とともに、本県独自の取組として、東日本大震災及び原子力災害の影響に配慮した健康づくり体制の推進を展開することといたしました。

今後、本計画に基づき、市町村や関係団体と連携しながら、県民の生活習慣の改善やライフステージに応じた健康づくり対策はもとより、長期にわたり県民の健康を見守り、県民の健康への不安等にも配慮した対策を積極的に推進してまいりますので、県民の皆様をはじめ、計画の推進に携わる関係者におかれましては、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、計画の策定に御尽力を賜りました「第二次健康ふくしま21計画」策定検討会の委員の皆様を始め、御意見や御助言を頂きました関係各位に厚く御礼を申し上げます。

平成25年3月

福島県知事 佐藤 雄平

